

浜松市市民協働を進めるための基本指針

—多様な主体によるまちづくりを実現するために—
～事業者の皆様へ～

「市民協働によるまちづくり」とは？

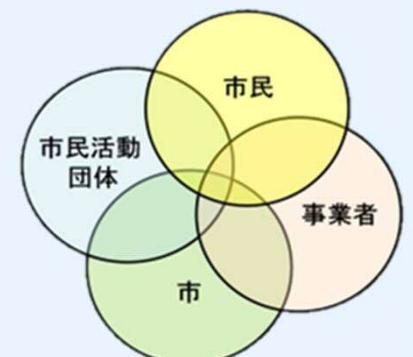
少子高齢社会に突入した日本では人口減少が進み、一方で個人の価値観等が多様化していることから、社会的課題が複雑化しています。その課題を解決するために、市民、NPOや自治会をはじめとした市民活動団体、事業者、市など、さまざまな人や団体

が取り組んでいます。このような多様な主体(私たち)が、お互いを理解し、信頼し、想いを共有し、対等な立場で手を取り合いながら、市民一人ひとりが幸せに暮らせる地域にするために主体的に取り組むことが「市民協働によるまちづくり」です。

社会的課題の例



「私たち」とは



「市民協働」によるまちづくりはなぜ必要？

高齢化

- 社会的課題の種類・量の増加

人口減少

- 市民活動の担い手の減少

NPO法人の増加

- 市民の興味・関心の高まり

事業者による社会貢献活動

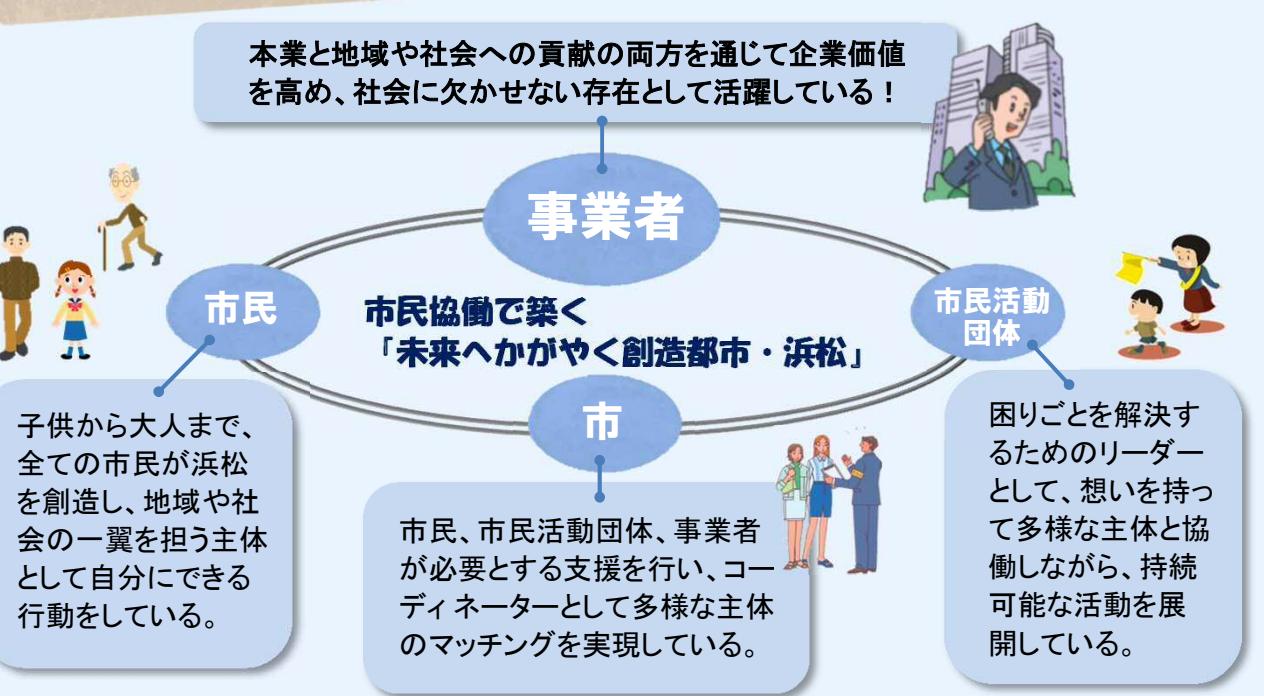
- 民間事業者による公共サービスの提供

それぞれの力だけでは課題解決は困難です。そこで、新たな担い手の発見や、現在の担い手の規模を拡大し、私たちが連携して取り組む必要があります。



多様な主体(私たち)の将来の姿と基本的な考え方

本業と地域や社会への貢献の両方を通じて企業価値を高め、社会に欠かせない存在として活躍している！



事業者として出来ることとは？

繋げる

市民協働でまちづくりの主役になる

- ・市民や市民活動団体が行う多様な活動に共感し、持続可能なまちづくりに向けて、人材面や資金面で支援する。
- ・従業員の専門性を活かしたボランティア活動(プロボノ)を通じ、会社人から社会人として地域の団体活動に携わる。

深める

まちづくりの担い手として行動する

- ・自社の社会貢献活動の取組みを社内・社外に発信する。
- ・地域の団体(自治会など)の声を社会貢献活動に活かすため、社会的課題に関する意見交換を行う。
- ・従業員が自発的にボランティア活動に参加しやすくなるための支援(奨励・休暇制度の創設等)を行う。

広げる

まちづくりへの関心を高める

- ・社会貢献活動に取り組み、浜松市企業のCSR活動表彰に応募する。
- ・新たな協働のパートナーに出会うきっかけの場であるパートナーシップミーティング等に参加し、多様な主体と交流する。
- ・浜松市SDGs推進プラットフォームに入会し、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた活動に取り組む。

事業活動と社会貢献で社会にアプローチし、豊かな地域づくりのために共に取り組みましょう！